

## 光関連団体国際会議（IOA）

光関連団体の国際連携組織である IOA (International Optoelectronics Association) の 2019 年の年会が、4 月 12 日～13 日、SOA (英) 主催で英国グラスゴー市において開催された。当協会から小谷専務理事他 1 名が参加したので、以下に概要を報告する。

IOA は 1996 年に当協会がホストとなり ICOIA (International Coalition of Optoelectronic Industry Associations) として始まり、10 年前から IOA と名称を変えて、年会は今年で通算 24 回を数える。メンバー数は発足時には 4 団体であったが、現在は、図 1 に示す 9 団体となっている。



図 1 IOA 参加組織（2018 年度末現在）

今回の参加者は、IOA メンバーである Swiss Photonics (スイス : 1 名)、OITDA (日 : 2 名)、PIDA (台湾 : 2 名)、SOA (英 : 1 名)、OptecNet (独 : 1 名)、OIDA (米 : 1 名) の 6 か国／地域 8 名の他、オブザーバとして、UK Photonics Leadership Group (英 : 1 名)、technology SCOTLAND (英 : 1 名) の 2 名が参加した。

会議は、会場となったグラスゴー市のテクノロジー&イノベーションセンタおよびグランドセントラルホ

テル内の会議室において、これら 8か国／地域／団体の参加者から「各国／地域の光産業動向と昨年の活動」、「各国／地域の技術ロードマップと技術開発の動向」を中心に報告があり、活発な議論が行われた。当協会からは、2018 年度の光産業動向調査結果と活動の概要について報告するとともに、2018 年度に作成した「Beyond 5G 向けた次世代ネットワークの光テクノロジーロードマップ」について概説した。また、PETRA にて推進している国家プロジェクト Integrated Photonics-Electronics Convergence System、並びに Photonic & Electronic Hybrid Switching System Technology の概要と進捗についても紹介した。

各国の主要な報告を、以下に概述する。

SOA からは、世界の光産業の動向に関する調査結果について報告があった。世界の光産業も製品・技術分野による差があるものの全体としては安定した状況にあり、Photonics の市場規模は今後、半導体を大きく上回って拡大していくとの予想が示された（図 2）。

Global Market Size US\$Bn	2015	2020	2023	2025	2028
Photonics <sup>1</sup>	523	733	898	1,028	1,260
Semiconductors <sup>2</sup>	343	468	540	656	
Quantum Sensors <sup>3</sup>			1.0		2.2
Quantum Computing <sup>4</sup>	0.1	0.3	0.9	2.2	

図 2 世界の光産業の市場規模（単位：USB\$）（SOA 資料より抜粋）

また、OIDA からは、世界の光産業での雇用者数（図 3）、光産業の分野別の生産量の増減率（図 4）という興味深い二つの指標が示された。

光産業雇用者数は、日本、韓国、中国など東アジアが欧米に比べ、多く、光産業の生産が東アジアを中心とする地域で活発であることがうかがえる。

また、2013 年を起点とした生産量増加率からは通信分野、機械機器分野での光産業製品の増加が大きいことが示された。

最後に、次回年会を、2020 年 2 月に OIDA 主催によりカルフォルニアで開催することが合意され、閉会した。

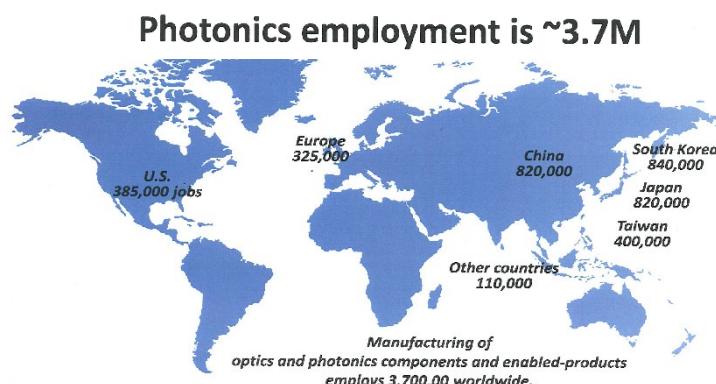


図 3 世界の光産業雇用者数（OIDA 発表資料より抜粋）

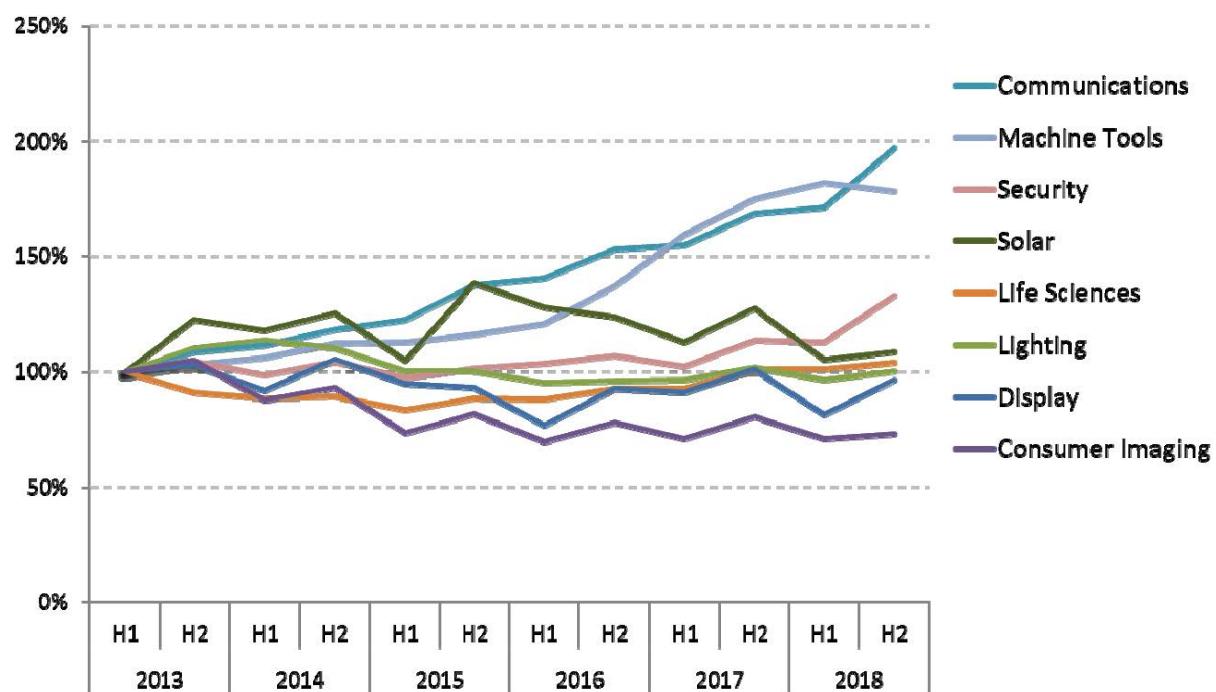


図4 光産業の分野別生産量増減率（2013年起点、単位：%）  
(OIDA 発表資料より抜粋)